

## 委員名と役割分担

分科会代表：横山武  
分科会副代表：朝倉常夫  
記録：笹子全宏  
実行委員：遠藤勇

## タイムテーブル

5月21日「四季の里山から里山のイメージの共有と価値を考える」

10:00～10:20 あいさつ・趣旨説明  
10:20～10:30 特別ゲストによる講演：中村俊彦「里山とそのすばらしさ」  
10:30～10:50 講演：浅井桑男「里山の四季を語る」  
11:10～12:00 グループ討論  
12:00～12:30 まとめ

6月18日「四季の里山を見る、また、語る」

12:00～16:00 ハイキング（現地見学）

6月19日「四季の里山を見る、また、語る」

9:00～9:10 主催者あいさつ  
9:10～9:20 来賓あいさつ  
9:20～10:00 地域の取り組み発表

（安馬谷里山研究会、丸山町観光協会、ぼんた里山の会、たのくる里山保存会、特別講演：中村俊彦）

10:20～11:30 パネルディスカッション「里山の価値をどう観光に結び付けていくか」

## 出席者数

延べ88名

## 基調講演等の内容

"地域の取り組み発表

（1）安馬谷里山研究会横山武

- ・昔、安馬谷区の区有林であり燃料としての薪を取る場であった12.7haの森林（現在は町所有）を平成11年度から整備を開始した。
- ・今までに、丸山町立丸小学校、南小学校、丸山中学校の生徒や地元住民、都市住民、県内子供会などによる植樹が行われた。また、現在では里山ハイキングと題し定期的に一般参加によるハイキングが行われている。
- ・里山づくりを行って気づいたことは、除間伐により地面を出すことによってプラス面として植物の多様性が復活し（山ツツジ、山百合、ワラビ、ホタルカズラ、野菊、スミレ、山ラッキョウ、リンドウなど）遠景が見えるようになったが、マイナス面としてカラスザンショウ、アカメガシワ、ハゼ、セイタカアワダチ草が増えたことなどがある。
- ・今後は、学問台、大蛇、竪穴式住居など地域の歴史や伝説（伝統）、ハンゲショウなど湿地帯の利用をし、子供たちの学習の場として活用していきたい。

（2）丸山町観光協会朝倉常夫

- ・平成12年より開始した、みねおかいきい館、いきいき体験共和国についての発表
- ・小学館プロデュースにより、地域の人たちがいつもやっている農業を体験学習として提供。
- ・小学校は都会では一生体験できない骨のある仕事（農業）を求めている。
- ・現在ではメンバー全員が指導者で二十数種類の体験メニューを提供している。
- ・活動地は丸山町大井で、空気や山林風景、今ではあまりできない川遊びが出来ることなどが魅力となっている。
- ・メンバーの高齢化が問題となりつつある。

（3）ぼんた里山の会遠藤勇

- ・2003年11月23日から24日に行われた「谷津田フォーラムIN丸山町」のまとめについて小西朝希子氏による発表が行われた。（丸山町のいいところと悪いところ）
- ・昔ながらの生活を再生し「海がめやトキを！」をテーマに丸山町の山から海につながるすばらしい景観、自然を活かしてほしい。

・ 今後はエコツアーなどを計画し、都市と農村の意見の違いを分かち合い、交流を深めていきたい。 "

討論会等の内容

" ( 4 ) たのくろ里山保存会渡辺俊彦

- ・ 千倉町川戸の里山（学校林）で地元の青年が主体となり平成12年に結成。
- ・ 月に1回第1日曜日を「里山の日」として活動しているが、月1回では不十分なため週1回水曜日に有志で下刈りなどを行っている。（桜、うめ、ブルーベリーなどを植えた）
- ・ 花壇コンテスト（平成14年から）かかしコンテスト（平成15年から）そうめんながし（8月）クリスマスツリーづくり、チェーンソー講習会なども行っている。
- ・ 標高90メートルの里山山頂からの景観が素晴らしい（富士山などが見える）
- ・ 老人会が作った巣箱を設置したところ3つに巣をつくりヒナが飛び立っていった。 "

分科会の名称

10 里山と観光

### 分科会の結論

( 5 ) 特別講演中村俊彦

- ・ 千葉の世界一豊かな自然を子供たちに引き継いでいきたい。
- ・ 千葉は北の恵みと南の恵みの出会う場所。
- ・ 観光とは光を見ることであり、光とはその土地の自然、文化、住んでいる人々である。
- ・ 地元の人は「土の人」であり訪れる観光客などは「風の人」である。
- ・ 里山とは身近な山であるので人の暮らしを含めて考える必要がある。
- ・ 平成14年の国土交通省の調査によると、今でも日本の誇りとは、豊かな自然、伝統、文化、芸術である。

### 分科会の課題

2 . パネルディスカッション「里山の価値をどう観光に結び付けていくか」

パネラー：丸山町長石井洋、ワイルダー浅井桑男、安馬谷里山研究会横山武、ぼんた里山の会遠藤勇、司会：中村俊彦

中村：本音をぶつけ合いながら、この丸山町素晴らしいところ、里山、里海、文化を踏まえながら、観光というところへ結びつけていきたい。また、最後に子供ということにもどって考えていきたい。

浅井：低い山で人間の生活のにおいのする絵を書きたいと思っていたところに、中村先生から話をいただいた。里山の風景を書くときに農家の絵が難しい、時代の変化で現在とかけ離れるので、高い山もいいがこういう里山のような絵をこれからも描いていきたい。

中村：我孫子のときに、絵を見ながらイメージをまとめてみたが、やる前は、「わーきれい」とか「どこどこが素晴らしいな」という感想が出ると思っていたが、「あれが足りない」とか「ここが変」といったような感想が出てきた。要するに、私が言いたいのは、皆さんそれぞれ、自分ふるさと里山感といったようなものをお持ちだということがわかった。こういった絵を通じて昔の良さを思い出させてくれた。

石井：人間の文化が一体となった体験と交流の観光が生まれ始めている。安房の中で観光後進町だった丸山町だからこそ、昔のもうければいいといった観光をぬけ、新しい観光をめざしたい。10年後に今の「里山の時代」の取り組みが活かされることを祈る。

横山：里山を管理する側と見る側では意見が違う。最初は好き勝手やっていると言われた。自分自身が楽しむことが大切。

中村：アンケートの結果から地元の人意識の向上がわかった。

遠藤：昨日地元の人と参加者（都市の人）との交流をしたが里山の話をしていると生活の話になっていく。ぼんた里山の会は遊びがテーマ、昔の里山との係わり合いをやることで今後の活動のヒントになるものを得たい。

来場者：里山と観光は結びつくのか？金銭的になりたないのでは？私だったら里山よりもディズニーランドにお金を使う。9割りくらいの方がそうなのでは？

他の来場者：いや、私は丸山でログキャビンをやって里山を観光に結びつけている。今はディズニーランドより里山という人の割合が増えていると思う。今までの観光であまり受け入れてこなかった、一人旅やペットずれなどを受け入れればもっとよくなると思う。里山はペットも居心地がいいと思うし。

"

### 分科会の提言

中村：私はディズニーランドの近くに住んでいるが、あんな作り物は楽しいと思わない。里山好きの人をターゲットにすればなりたつと思う。里山のような場所はもう一度来たいと思わせる。

遠藤：こちよさを提供できれば客はくると思う。

その他特筆すべき内容

そこにあるものを活かす（ありのままの自然、人、文化）

人を活かす人が強み（地域の人を活かした観光により里山と観光が結びついていく）

自然体験を取り入れる（自然体験は最高の道德教育，自然体験をしなければ子供は動物のまま！子供になれない）

### **反省等**

里山と観光を考える場合，里山だけでなくいろいろなもの（人、文化、交流、体験など）を活用することが重要である。

### **その他**

平成15年（谷津田フォーラム）につぎ2回目の丸山町開催で，地元の人と都市の人の考え方の違いが少なくなってきたのを感じた。（地元の人の意識レベルの向上）

パネルディスカッションではパネラーだけでなく来場者からも活発な意見が出された。

### **目的**

19日は40名という人数だったが白熱したディスカッションが行えた。里山を観光に活かすというなかでの結論は出なかったかもしれないが，こういったシンポジウムなどを行うことにより，いろいろな方に問題を提起し里山の大切さを伝えていたい。

分科会の名称

# 1 1 里山と水循環

委員名と役割分担

代表：荒尾 繁志

書記：桑波田 和子

実行委員：瀧 和夫、千葉 智雄、吉田 正彦、鈴木 優子、三品 圭史"

タイムテーブル

出席者数

基調講演等の内容

討論会等の内容

分科会の結論

分科会の課題

分科会の提言

その他特筆すべき内容

反省等

その他

目的

報告書掲載予定写真・カット・図版等

分科会の名称

## 1 2 里山と野生動物

委員名と役割分担

"代表：中野 真樹子

副代表：石山 大

記録：李 謙一

委員：栗原 裕治・小野 鈴子・小島 望・渡辺 理美・清水 享・朝倉 幹晴"

タイムテーブル

出席者数

基調講演等の内容

討論会等の内容

分科会の結論

分科会の課題

分科会の提言

その他特筆すべき内容

反省等

その他

目的

報告書掲載予定写真・カット・図版等

分科会の名称

## 13 里山と文化

### 委員名と役割分担

"代表：加藤 賢三

副代表：

記録：田桐 義啓

委員：平山 喜人、西野 元、福原 経正、笹生 衛、佐久間 豊

"

### タイムテーブル

### 出席者数

### 基調講演等の内容

### 討論会等の内容

### 分科会の結論

### 分科会の課題

### 分科会の提言

### その他特筆すべき内容

### 反省等

### その他

### 目的

報告書掲載予定写真・カット・図版等

分科会の名称

## 14 里山と子どもの健康

### 委員名と役割分担

"代表：藤原 寿和

記録：半澤 勝男

委員：井村 弘子、川北 美保子、朝倉 法子"

### タイムテーブル

### 出席者数

### 基調講演等の内容

### 討論会等の内容

### 分科会の結論

### 分科会の課題

### 分科会の提言

### その他特筆すべき内容

### 反省等

### その他

### 目的

報告書掲載予定写真・カット・図版等